

平成30年度KUTC総会議事録

- 日時:令和元年5月25日(土) 10:00 テニス会 16:00 総会 17:30 懇親会
- 場所:神戸大学アカデミア館3F和風レストランさくら
- 参加者(敬称略)

| | | | | | | | | |
|------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| OBOG | 市山(S35) | 山田(S41) | 吉岡(S42) | 阿部(S43) | 北尾(S45) | 高村(S48) | 藤川(S49) | 大櫻(S50) |
| | 中井(S52) | 江戸(S52) | 林(S53) | 山本(S53) | 戎野(S53) | 松中(S54) | 和又(S54) | 森(S54) |
| | 奥田(S55) | 上辻(S56) | 松崎(S59) | 福永(H4) | 藤森(H29) | | | |
| 部長 | 森部長(S60) | | | | | | | |
| 現役 | 八代(4年) | 安田(4年) | 秦間(4年) | 年) | 津守(4年) | 中島(4年) | 浦川(4年) | 阪口(4年) |
| | 内海(4年) | | | | | | | |
| | 橋本(3年) | 西田(3年) | 山中(3年) | 堺(3年) | 武内(3年) | | | |
| | 小堀(2年) | 生井(2年) | 古島(2年) | 立石(2年) | | | | |
| | 佐藤(1年) | 廣瀬(1年) | 津田(1年) | 深尾(1年) | 藤井(1年) | 土井(1年) | | |
| コーチ | 豊嶋コーチ | 吉田コーチ | | | | | | |

4. 議題

- 4-1審議事項
 - (1)平成30年度事業報告及び決算報告
 - (2)令和元年度事業計画案及び予算案
 - (3)財政基盤強化策
- 4-2報告事項
 - (1)本部からの報告(会員動静、年報第4号、活動予定等)
 - (2)東京支部からの報告
 - (3)現役活動報告(新入部員、練習・試合予定等)

5. 検討事項

(1)林会長挨拶(要旨)

昨年来の現役の戦力アップの成果は今のところ出ていない。個人戦で本線進出者なし。
 新入生が男子6名女子0名、引き続き勧誘を。
 現役はリーグ昇格を目指し頑張るのであるが、これは社会に役に立つ人材を育成する手段である。
 KUTC会員は会費納入で支援、6月の個人戦、9月のリーグ戦の応援して盛り上げていこう。

(2)平成30年度決算

和又会計担当から報告、会費納入者は207名(前年比+17、予算比▲3名)内自動振替者は131名。
 収入予算比+39、支出-200、次期繰越金+239。男子コーチ不在と予備費の不使用による。
 繰越金が多すぎないか:会費は増えたが、自動振替者131名以外は未確定ゆえ。
 高村監事から「決算は、公正かつ正確である。」との報告があり、原案承認された。

(3)令和元年度予算

幹事長から原案説明あり、年会費納入者215名とする。現役補助金男女計48万円を継続。
 設備積立金は10万円増の50万円とする。
 更に会費が増えるようなら設備改善積立金、備品費に充当予定。
 原案は承認された。

(4)財政基盤強化策

年会費納入者増加:昨年同様、顔の分り合える会員に協力を依頼する。

休眠会員の掘り起し。

システム内の連絡先を更新してもらう。

学年幹事から同期生にアピールしてもらう。

現役、OBOGの状況を意識してもらう。

メール不達者に郵便で更新を依頼。

学年幹事の見直し。

(5)報告事項

1、会員数:582名

OBOG549名 休眠会員131名 現役33名(学部24名 男子19名女子5名、大学院7名 その他2名

(特記) ・新入部員勧誘～入部6名:男子部(6名)、女子部(0名)

(3月末から4月中旬)新人勧誘祭、試打会等実施、多数参加、更に勧誘継続

2、役員異動等

(1)理事(新任):八代善一郎(4回生、男子部主将)、浦川晃歩(同、女子部主将) (計73名)

(2)監督・コーチ陣:(2018.12付)

(総監督)北尾善明(S45)

(男子部監督)福永俊介(H4)(助監督)松崎久也(S59)

(女子部監督)松中一郎(S54)(助監督)若林沙希(H27)

(コーチ)男子女子部 豊嶋利彦コーチ(新任)、(補佐)吉田昇生コーチ(新任)

井上英輝(H31)

3、Web名簿システムとHP管理(継続)

(1)Web名簿システムは、14/7稼働、約4年経過、住所変更、メール変更、職変等各自修正が不十分。

名簿管理、会費支払管理、会員への一斉メール、現役の就活等利用が限定されている。

(費用は導入費用10万円、以降維持費用4千円/月)

(2)HP管理は、新鮮な情報掲載と利用不足。(41千件/13年)。年度計画分と速報掲載には自主運営可、

現役のHPは、FACEBOOKを利用、新鮮な情報と写真で読み易く、他校からもアクセスあり。

4、年次報告の発行(第4号:6月予定)大塚編集長

(1)「年報」切替、4年目定着化。寄稿者17名(担当:大塚編集長(S50)、現役主務+広報局で編成)

(2)総会后、前号同様構成(80頁)、現役・OB/OG会員全員対象に600部強配布、海外会員にPDFメール。

(3)現役全員は1年間の目標と活動結果を、OB/OGからは新旧役員就任、退任及び自由投稿で纏め中。

5、新部室他設備関係(2016.5.23部室竣工～3年経過)

(1)新部室維持の為、5S運動徹底。部の歴史を代表するデ杯選手、優勝・昇格写真・額を引き伸ばし掲示。

(2)人工芝コート2面は、額面補修実施から約4年間経過、毎年業者に摩耗状況測定実施。(耐用年数8年)

(3)クレアコート2面は、大学側(学生支援課)に毎年補修の要請を出し、依頼済(現役担当)

6、現役の教育

(1)リーグ戦を勝ち抜くチーム作りと、社会に通用する人材育成。

総監督以下新体制で2名のコーチを招聘。

(2)現役の主体性を尊重しつつ、OBOGがどのように関わっていくか。

会長以下幹部と現役の意見交換会ですりあわせ。2度開催。

(3) 大学との連携をどうするか。

過去からコートを始めとする設備面の話し合いを重ねてきた。

5月24日に学生支援課長を訪問、体育会のあり方等、大学の方針について話し合った。

- ①吉岡前幹事長から過去の経緯を説明。学生支援課、施設課と情報を共有。
- ②林会長から、体育会の意義：人財育成の場であり、社会人として通用するマナーを身につける。
- ③大学としては、各部に任せている状況。
- ④コート廻りのブロック塀の改修を国からの補助で実施。時期をリーグ戦終了後に設定。

公示期間の練習コート確保に協力を依頼。今後検討する。

7、OBOGの支援体制

- (1)年会費、寄付金が190名→207名に増加。
- (2)KUTCのホームページに登録の住所等連絡先の不明者、変更を掘り起し中。
- (3)検討事項として、学年幹事の見直しをしていきたい。
- (4)テニスコート関連：オムニ、ハードコートが主流。オムニの維持費、ハードへの改修。費用の捻出。
- (5)幹部8名に名刺。テニス協会その他の組織、高校の監督コーチ先生、有力選手のリクルートに活用。

8、旧三商大OB戦日程 …一橋大、大阪市大と調整中

(大阪)10月12日土曜日 (今年は神戸大が当番校。大阪と神戸と隔年分担)

ブロック塀工事の影響があり、日程、コートを再検討。

(東京)11月(一橋大当番校(常時))

9、今後の予定

(1)KUTC新年会：2020/1/25(土)(1月最終土曜日)(同上)

(東京支部活動報告)山本支部長

5月23日東京支部総会開催。出席者25名。S50以降卒が9名。この人数を増やす努力をする。

平成30年度の活動(テニスポイント、対外試合2、合宿2、ゴルフ会2)。

令和元年活動計画が報告された。

(現役からの活動報告)男子、八代主将、津森会計、女子内海主務、阪口会計)

①会計報告。OBとの摺りわせ積み。

②今後の活動報告。リーグ戦日程男子9月1日3日5日7日9日。

女子9月2日4日6日8日10日。3home2away確定。

対戦相手：男子3部 大阪市大、大阪産大、びわこ成蹊スポーツ大、京都産大、桃山学院大。

女子4部 大阪学院大、龍谷大、佛教大、甲南女子大、奈良女子大。

③その他個人戦、対抗戦、合宿(8/17～22和歌山県かわべテニス公園にて)スケジュール。

④1回生にレギュラーになりうる人材がおり、強化したい。

林会長から八代主将、浦川主将に庭球部補助金の目録が贈呈された。

懇親会

松中副会長の司会で市山先輩のお話、乾杯のご発声をいただき、総勢48名大いに盛り上がった。

八代主将から新入生6名の紹介があり、各人のテニスへの思いがよくわかる自己紹介が繰り広げられた。

山本東京支部長主導の三本締めで、お開きとなった。

| | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| テニス参加者 | 9名 | | | | |
| | 吉岡(S42) | 中井(S52) | 林(S53) | 豊嶋コーチ | 松井(S53) |
| | 森(S54) | 上辻(S56) | 松崎(S59) | 藤森(H29) | |

文責：奥田(S55)